

沖縄の集落における子育ての共同組織に関する研究（その2） —名護市・宮里幼稚園の保護者からの聞き取り—

嘉納 英明*

A nursery school study in the community of Okinawa (II) —Interview with parents in Miyazato nursery school in Nago city—

KANO Hideaki

要 旨

名護市の宮里幼稚園は、公民館幼稚園の前史をもち、法的には認可外園の位置づけである。宮里幼稚園に子どもを預ける理由について、保護者は、保育料の安さや幼稚園の自由な雰囲気とゆとりが魅力であると語る。また、午後までの延長保育の要望はあるものの、保護者の保育ニーズ（午前中の保育）にほぼ対応していること、園内外での豊富な体験活動があること、保育士と保護者の意思疎通が十分構築され保護者の相互のつながりがあること、幼稚園の活動がよく見えるという理由により、保護者は、宮里幼稚園に子どもを預けている。

キーワード：保育料 自由な雰囲気 保育ニーズ つながり 活動の透明性

1. 本調査の目的と方法

本調査は、「沖縄の集落における子育ての共同組織に関する研究（その1）—名護市・宮里幼稚園の保育士からの聞き取り—」に続き、名護市の宮里幼稚園に子どもを預けている保護者からの聞き取りの報告である。「研究（その1）」では、幼稚園の保育士に焦点をあてて聞き取りを行い、その結果、保育士は自然体で地域活動につながる意識で保育活動に従事し、園内の保育・教育活動の自由度の高さを語った。保育士と保護者の関係性についても良好であり、保護者の午前保育のニーズに応じていること、そして、宮里公民館の理解と協力によって運営されていることを述べている⁽¹⁾。

* 公立大学法人 名桜大学国際学群教授

今回の調査は、宮里幼稚園の保護者の中から3名に依頼し、半構造化インタビューを用いて、幼稚園選択の理由、保護者と幼稚園（保育士）との関係性、保護者から見る幼稚園への要望を中心に語って頂いた。文末に、3名の保護者から聞き取ったことをまとめた。

インタビューの期日と会場

2016年（平成28）7月14日（水） 会場：宮里公民館

被インタビューー

保護者T（埼玉県出身、名護市字羽地在住、沖縄移住8年目、20代）

保護者N（沖縄県出身、名護市字宮里在住、30代）

保護者I（茨城県出身、名護市字大北在住、沖縄移住3年目、30代）

2. 聞き取りの内容

<宮里幼稚園に子どもを預ける理由>

嘉納 忙しい中、今日は公民館に集まって頂き、ありがとうございます。今日は、宮里幼稚園に子どもを預けている保護者の皆さんからお話を聞きたいと考え、幼稚園の先生方にセッティングをお願い致しました。早速ですが、Iさんの方から、簡単に自己紹介をお願い出来ますか。

I 茨城出身のIです。20代から横浜に住んでいて、2年半前に沖縄に引っ越ししてきました。沖縄在住3年目に入っています。今は、名護市の大北に住んでいます。

N 宜野湾市出身のNです。子どもの頃に名護市に引っ越ししてきました、今は、宮里に住んでいます。

T 埼玉出身のTです。旦那が伊佐川出身で、8年前に沖縄に来て、今は、羽地に住んでいます。

嘉納 早速で恐縮ですが、名護市内には、多くの保育園がありますが、なぜ、宮里幼稚園を選んだのでしょうか。

T 私の場合、友達で紹介で、宮里幼稚園を知りました。2人目の出産の時に沖縄に来ました。沖縄は埼玉と勝手が違って、埼玉では3歳から幼稚園に入るのが普通なんですね。上の子はそのつもりで沖縄に来たんですが、沖縄の幼稚園は5歳になってから、しかも1年しかない。5歳児入園なので、まだ入れないので、子育て支援センターに上の子を連れて行って行っていました。上の子が幼稚園に入った時には、沖縄で生まれた子は3歳ぐらいだったんですね。その時には、また子育て支援センターに行っていたんですが、物足りなくなって。友達がたまたまこの宮里幼稚園に通っているのを聞いて。その友達は、あちこちの保育園をみてまわって、この宮里幼稚園は、昔の遊びとか、色々教えてくれるというので、決めたようなんです。それで、私は、宮里幼稚園を見学しようと思って、行ってみたら、子どもが純粋に気に入ったようで、また子どもの友達が入ったということもあって、宮里幼稚園に決めました。今、その子は、小学校2年生ですが、3番目の

子は、今、幼稚園なんですけど、その子も宮里幼稚園にお世話になって、そして、一番下の子が宮里幼稚園に通っています。4人の子どものうち、上を除いて、宮里幼稚園ですね。

嘉納 幼稚園の見学の時、園の雰囲気が入ったということですか。

T そうですね。先生の人柄と園の雰囲気。そして、私は内地から来て、出産したばかりで仕事がなかったということもあって。親も側にいないので。慌てて、保育園を探さないといけない、ということもなかったんですね。仕事をしていないので、認可園は難しい。認可園は、両親が仕事をしていないと難しいでしょう。子どもが小さいうちは、がつつり、仕事をしたら、子どもと一緒にいられるのは少なくなるし、子どもに何かあったときには、仕事上、すぐには行けないですよ。身内が近くにいないので、バリバリ仕事をするということは考えていなかったですね。それで、旦那と相談して、下の子どもまでは、仕事をしていなくとも、幼稚園だったら入園できるということで、決めました。

嘉納 保育園だと「保育に欠ける者」が対象になりますけど、幼稚園の場合、そうした条件はありませんよね。

T そうなんです。それで、宮里幼稚園に決めました。最初の見学の時の園の雰囲気が良かったから、下の子まで宮里幼稚園に、と決めました。今、3歳なのであと2年間は大丈夫ですので、そのあと、仕事をしようかな、と考えています。

嘉納 幼稚園の午前中の保育は、満足していますか。

T 本当のことをいったら、昼過ぎまでは預かって欲しいですね(笑)。(他のN、Iも頷く)。木曜日は、弁当持参で午後1時まで預かっているんで、他の平日も、家からおにぎりを持たせてもいいから、午後1～2時ぐらいままでは預かってもらえると嬉しい。今は、それが出来ていないのですが、だからといって、別の園を探そうという気にはなれないですね。保育園だと、夕方まで預かるのですが、やはり、子どもとのつながり、自分の側におきたいということもあって、保育園にフルで預けることは考えていないですね。自分は、3～4歳ぐらいままでは、親と一緒に過ごす時間は貴重な、と考えていますので。午後、たっぷり、子どもと過ごせるのは、すごくいいです。預けるのに、午後5～6時までは、長いかな、と。

N 私が子どもを宮里幼稚園に預けた理由は、ほぼ、Tさんと同じですね。やっぱり、最初、子どもの預け先として保育園を考えたんですけど、夕方まで預けるのはどうかな、また、自分が仕事を探さないと保育園には預けられないな、なんてことを考えたら、結局、幼稚園になりました。急いで、仕事を探さなくてもよかったので、ここに預けることにしました。子どもにとって、午前中だけでも友達と遊べるのが出来たら、いいかな、って思って。子どもの周りには、同じ年頃の親戚とかもいないので、幼稚園で同じ世代の子どもと関わることはとても貴重な体験だと思って入園させました。子どもにとって、同じ年齢の子どもと遊ぶ機会は必要ですよ。私も実は、名護市内の幼稚園に通っていて、宮里ではないのですが、親が、「あんたは、午前中の幼稚園を楽しんでいたよ」なんて

ことを言われていました。自分の子どもにも同じ体験をさせることもいいかな、と考えたんです。友達とも遊べるし、午後は、自分の時間もあるし、で。宮里幼稚園には見学に来まして、そしたら、子どもがとても気に入って、それですぐに翌日から入園しました。子どもは、幼稚園の雰囲気とか、子どもなりに気に入ったんでしょうね。まず、上の子を入れて、今、下の子を入れてます。

I 私は、TさんやNさんとちょっと違って。沖縄に来た時に、子どもは3歳になっていて、県外ではプレイホールの時期ですが、沖縄では、幼稚園は5歳から入園と聞いてびっくりしたんですね。それで、仕事はすぐには見つからないし、名護の地理はよくわからない状態で。保育園は仕事をしていないと入園出来ないんで、幼稚園はまだ入れないという状態。それでたまたまネットで調べていたら、幼稚園というものがあって、大北、大南、宮里。電話番号が載っていたので、大北に問い合わせしたら、「もうやっていませんよ、閉めた」ということで。それで、大南に問い合わせをしたら、「定員一杯です」って言われて。宮里に来たら、園庭は広いし、教室も広め。私は田舎育ちだから、園庭が広くてこっちは良さそうということで、入園をお願いしました。でも、最初は子どもが一杯だからという理由で断られたんです。でもしつこく何回も何回もお願いして、そしたら転出する子がいて、それで入ることが出来ました。沖縄に来て、自分のことや生活のことで一杯いっぱいだったので、少しでも自分の時間が欲しいということで、幼稚園が午前中だけ預かるというのも助かりました。とにかく、子どもを預ける園を探していましたね。欲を言えば、Tさんと同じで、午後まで預かって欲しいという気持ちはありますね。午後1時とか、までね。

嘉納 保育料が8,000円ということも、預ける理由に入りますか。

I もちろん、入りますね。私は、仕事をしていなくて、ここに来たばかりで。夫は、まだ横浜にいたんですね、契約社員という形で。私は、先に、子どもと2人で沖縄に来たんですが、やっぱり、お金があまりかからない所に預けたいと考えていましたから。おやつ代も、特に、こちらから出すのじゃないんで。

嘉納 おやつ代については、市役所から補助があるようですね。

I おやつといえば、夏とか冬とかになると、おじいちゃん、おばあちゃんが作った果物などの差し入れがあって。「誰々のおじいちゃんが作ったものだよ」って。うちの旦那の実家は今帰仁で、ミカンを作っているんで、それを幼稚園に差し入れしたりして。こんな関係はいいなあ。

N 私の場合、今、双子が通っているんで、それで、字費は一人分免除ですね。

T やはり、保育料は安いですね。幼稚園も認可外ですよ。他の認可外の保育園に入れるとしたら、何万とかするらしいし。午前中の保育ということもありますけど、8,000円は安いですよ。一ヶ月、8,000円出して、午前中は預かってもらえるというのは魅力ですね。8,000円で、午前中の時間を買っている感じ。午前中は、自分の時間として使

えるし。

I 同じ考えですね。

N 私も同感ですね。

I 自分の時間があれば、30分でもあれば、上手く使えるし。いいですね。朝、家事を頑張って、という感じ。貴重な午前の時間です。

<宮里幼児園の特徴>

嘉納 宮里幼児園ならではの特微みたいなことは何でしょうか。

T 私は、やっぱり、子どもを率先して外に出してもらっていることはいいことだなと思っています。今日みたいに、蟬取りに行っているでしょう。まず、私がそんなことさせることが出来ないじゃないですか。それを幼児園でやってもらっている、貴重な自然とのふれあい、これはいいことだと思いますね。「気持ち悪い、触れない」と子どもが言う前に、すでに、触れる体験をしていますよね。あと、補助輪なしの自転車に卒園までに全員が乗れるようにしようとか、少人数ならではの気配りというか、指導がありますね。上の娘の同級生が小学校2年生で補助輪なしで自転車に乗れるようになったといっていました。うちの子は、すでに、幼児園の時に乗ることができていたんです。やはり、先生方が子どもたちに色々体験させていることがいいなと思います。公立の幼稚園や保育園だとカリキュラムがあって、という感じですが、宮里幼児園は2人の先生方が色々相談して保育活動を進めている感じですね。

I 今日も、入り口に「〇〇君へ セミ取りに行っています」と紙に書いて張り出しているんですね。先生方がきくと相談して、子どもと出かけたのだと思います。

T 結構、前日になって、「明日は海に行きます」、なんてこともあります。「タオル忘れないで」、なんて。前日に、ですよ（笑）。

I 海は、最初、びっくりした。海に行くなら、水着の準備とかあるじゃないですか。でも、そのまま、服のまま入って。「家に帰ったら、シャワーをお願いします」、って。それは、びっくりしましたね。旦那に聞いたら、沖縄では普通だよって。自分たちにとっては衝撃でしたね（笑）。私の田舎は海がなくて、山だったんですね。だからプール。水着と着替えを持って、プールに行くんですが、ここでは、「そのまま入るよ、洋服のまま」。ちょっと、びっくりしましたよ。でも、園では、「今日、海に、行くから」って。「ええ！」って感じですね。普段の着替えしか持っていないのに。

N 少人数であるというのはいいですね。うちの子は、どちらかという人見知り。慣れるまで時間がかかるんですね。朝も、泣いてしまうときもあったんですが、でも、先生方は待っていてくれて。海や散歩にも、結構、連れていってくれているし。室内の遊びだけじゃないですね。子どもたちも楽しそうで、家に帰ってからも、「今日は、どこどこ、行ったよ」とか、話してくれるし。子どもが楽しいのはいいですね。幼児園で行った場所に、一緒に行きたいとせがんだりしますよ。

I 私は、保護者の方がとても助かっていると思います。男の子の場合、園内で、子ども同士、キックしたり、遊び半分かもしれませんが、ケンカとか起こりますよね。でも、誰も、止めないんです。ケンカがひどくなったら、そりゃ、止めますが、周りの大人は、見守るような感じですね。県外であれば、そんなことが起これば、親が園にクレームをつけて揉めたりしますが、ここでは、何というか、自然に任せるというか、子どもに任せているというか、そんな感じです。先生も親も、妙に、仲裁に入らない、そんな感じなんです。ほっとけば、いいよ、そんな、という感じ。「痛かったね、ごめんね」、そんな感じでまとめる。子どものトラブルは、自分たちで解決するような感じ。トラブルになっても、あとを引かない。その場で解決ですね。

T ちょっと、話はちがうんだけど、幼稚園って、やはり、制服を着て、朝礼みたいなものがあるって、何時から何時までは何をするというカリキュラムがあるイメージだけど、きっちりしているというか、園バスが来て乗り込んで、園に着いたらシールを貼るという感じ。だけど、ここの幼稚園は、スタンプはあるけど、10時までは自由ですよ。うちの子は、3歳までは県外だったんですけど、遊ぶ場所があまりなくて、保育園には入ってなかったんですね。ここに来て、砂場とかでの遊び方が分からなかったんですね。砂場で遊ぶ免疫がなかったんでしょうね、すごい、熱が出て。月1で熱が出てましたね。子育てというか、自然と遊ぶ意味では、沖縄がいいですね。言い方は少し悪いかと思うんだけど、「ゆるい」というか（笑）。小学生とかもゆるいです。小学生がこんなに遅く帰ることは、内地ではないですね。ここは「ゆるい」ですね、ほんとに。幼稚園も「ゆるい」んだけど、地域とかなり密着していると思いますよ。

<保護者のつながり、保育士のまなざし>

T 幼稚園を終えて、幼稚園とか小学校に進むんですけど、他の親についてはあまり知らないんです。でも、ここの幼稚園の保護者とは、少人数ということもありますが、顔を合わせて、話をしたりする機会は、結構、多い。子どもを園に預けた後も、お母さん同士でおしゃべりしたり、また、公民館の玄関なんかで、話をしたり、多いですね。仕事をしていない親が多いというのもあって、時間的にはゆとりがあるので、仲良くなれるというか、話をする機会はとても多いですね。子どものお迎えの時も、子どもは庭で遊ばせておいて、お母さん同士で話をしている。そんなことはしょっちゅうですね。だから、未だに、ここを卒園したお母さんたちには親近感があるし、会ったら、話をしますね。幼稚園が親の居場所になって、親もこの時間が楽しくて、楽しくて。今は、随分暑くなっているんですが、涼しい時には、公民館の前で、ずっと、1時間もおしゃべりして。延長保育状態。親にとっても、楽しい場所ですね。

嘉納 幼稚園は、親にとって交流の場というか、居場所にもなっているんですね。

T あと、先生が、一日あった出来事を詳しく話してくれるんですね。事細かに。一人ずつの子どもの様子をですよ。子どもの数が少ないということもあるかもしれないけど、

「今日のおやつ時間、面白かったんだよ」「誰々と誰々が、こんな会話をしていたんだよ」とか。ほんの些細なことでも、丁寧に話してくれるんです。迎えに来たお母さん方に全部報告するんです。

N 急いで帰るお母さんにも、「今日は、こうだったよ」とちゃんと話してくれるんです。

T 午前の園の様子って分からないので、本当に助かっています。先生たち、本当によく子どものことを見ているなあ、って。これを先生から聞くのが楽しみ。

嘉納 先生から子どもの様子を聞くのは、楽しみだし、安心ですね。

N 安心ですね。

＜幼稚園の行事と保護者の協力＞

嘉納 幼稚園の行事には、どのようなものがありますか。

N 運動会とお遊戯会が一番大きいのかな。運動会は、近くの小学校でしますが、最近までは、市内の幼稚園が集まって、合同運動会をしていたようです。お遊戯会は、公民館のホールでしていますね。

嘉納 行事を2人でするのは大変じゃないですか。

I 昨年までは、名桜大学の看護学科の学生さんがボランティアで来ていましたね。

T お遊戯会は、ほとんど先生たちで。運動会は、保護者のお手伝いも結構ありますね。お遊戯会は、日頃の練習の成果を当日まで見せないで、披露、するという感じ。だから、あまり、お母さん方の手伝いはない感じだね。当日まで、保護者には秘密って感じです。ここまで子どもたちが出来るようになりましたよ、すごいでしょ、って。成長をみせて、頑張りました。そんな感じですね。

嘉納 他に、公民館の施設を使うことはありますか。

I カレーパーティーで公民館の調理室を使うこともありますね。幼稚園で、子どもたちが野菜を切ったりして、調理は、公民館の調理室を使うとか。包丁を使って、じゃがいもやニンジン切る経験をさせるみたいなの。これがカレーになって戻ってくるからね。そして、お母さんたちが、形を少し整えて(笑)。他には、団子を作ったり、ムーチャーを作ったり。

嘉納 幼稚園の隣に公民館があるのは助かりますね。幼稚園の保護者からお話を聞くのは、今回が初めてでした。保護者の幼稚園を選んだ理由等も詳しく聞くことが出来ました。ありがとうございました。

3. まとめ —インタビューの整理—

宮里幼稚園に子どもを通わせている保護者3名から、通園理由を含めてインタビューを試みた。保護者のインタビューをまとめると、次のように言える。

[保育料の安さ、自由な雰囲気とゆとり、保育ニーズ]

保育料の安さは、保護者にとっては魅力である。ただそれだけではなく、午前の保育時間

は保護者にとって貴重な時間であり、また、子どもにとっても幼稚園における集団生活や自然体験等ができる。園の自由な雰囲気は、保護者にとって、「ゆるい」感じを与えるが、それがかえって、幼稚園の保育活動の柔軟性、受容性として保護者はとらえている。保育士は、ゆとりをもって、子どもと接し、日々の出来事を保護者に伝えることで、保護者との信頼関係を構築しているといえるであろう。また、午前中の保育ニーズ（正確には午後の時間までの保育を保護者は願っているが）に、幼稚園は対応していると同時に、「保育に欠ける者」の条件をクリアできない保護者の要望を受け入れているのである。保護者の中には、幼稚園での保育活動と子どもと過ごす時間を大切に考えている者がいて、それを幼稚園は満たしているといえる。

【保護者の相互のつながりと園活動の透明性】

保護者は、幼稚園を通して（子どもを通して）、絶えず保育士と他の保護者と関わり合い、日常的に関係性を構築していることが明らかになった。その関係構築の場は幼稚園である。保護者にとっても、幼稚園が居場所的な意味をもつものであり、子ども相互のつながりだけでなく、保護者同士の結びつき、保護者と他の子どもも結びついている等、濃厚な関係がつけられている。日常的な保護者の談話（主に送迎時）は、お互いの気心を知る機会であり、相互理解を促進しているといえるだろう。小規模幼稚園ゆえ、保護者が相互に「顔」が見える関係であり、幼稚園の保育活動の「透明性」もあって、気負いのない地域の保育活動を促進しているのである。

注

- (1) 嘉納英明「沖縄の集落における子育ての共同組織に関する研究（その1）—名護市・宮里幼稚園の保育士からの聞き取り」沖縄大学地域研究所紀要『地域研究』第19号、2017年3月。

[本調査は、科学研究費補助金（課題番号：16K04560）による成果の一部である]